

広島港宇品・出島地区土地利用あり方検討委員会の審議概要 及び今後の対応について

本日、第3回広島港宇品・出島地区土地利用あり方検討委員会を開催し、広島県の提案した土地利用のあり方案（別紙参照）について、意見、助言を頂いた。

今後、早急にこれらの意見、助言を踏まえた宇品・出島地区の土地利用のあり方の内容について、港湾計画に反映させるための事務手続きに着手する予定である。

○ 主な提案内容

- ◆ 物流関連 ～ コンテナターミナル背後の臨海部物流拠点の形成
- ◆ 賑わい関連 ～ 臨海部の魅力ある親水空間を活かした賑わいの創出
- ◆ メッセ・コンベンション関連 ～ メッセ・コンベンション計画全体の見直し
- ◆ 支援学校関連 ～ 広島市立広島特別支援学校の移転

特に広島特別支援学校の移転については、広島市から、広島港出島地区のメッセ・コンベンション用地の一部を学校用地としたい旨、県に要望があり、出島地区の土地利用計画における妥当性について検証した。

委員会における主な意見

- 物流関連
～ 近年の港湾物流の形態や企業ニーズの多様化から、コンテナターミナル背後に、臨海部物流拠点の確保が必要である。
- 賑わい関連
～ 魅力ある水辺空間形成の要請から、臨海部における民間のノウハウを活かした賑わい施設の整備が必要である。
- メッセ・コンベンション関連
～ メッセ・コンベンション需要の変化、市からの支援学校移転要請等から、メッセ・コンベンション計画全体の見直しが必要である。
- 支援学校関連
～ 物流機能の中への新たな導入機能となる学校について、出島地区移転の妥当性や周辺環境の制約、物流と人流の動線などの影響の課題整理、対策が必要である。

○ 今後の予定

- ◆ 【県】 地方港湾審議会（平成22年3月予定）
- ◆ 【国】 交通政策審議会（平成22年7月予定）

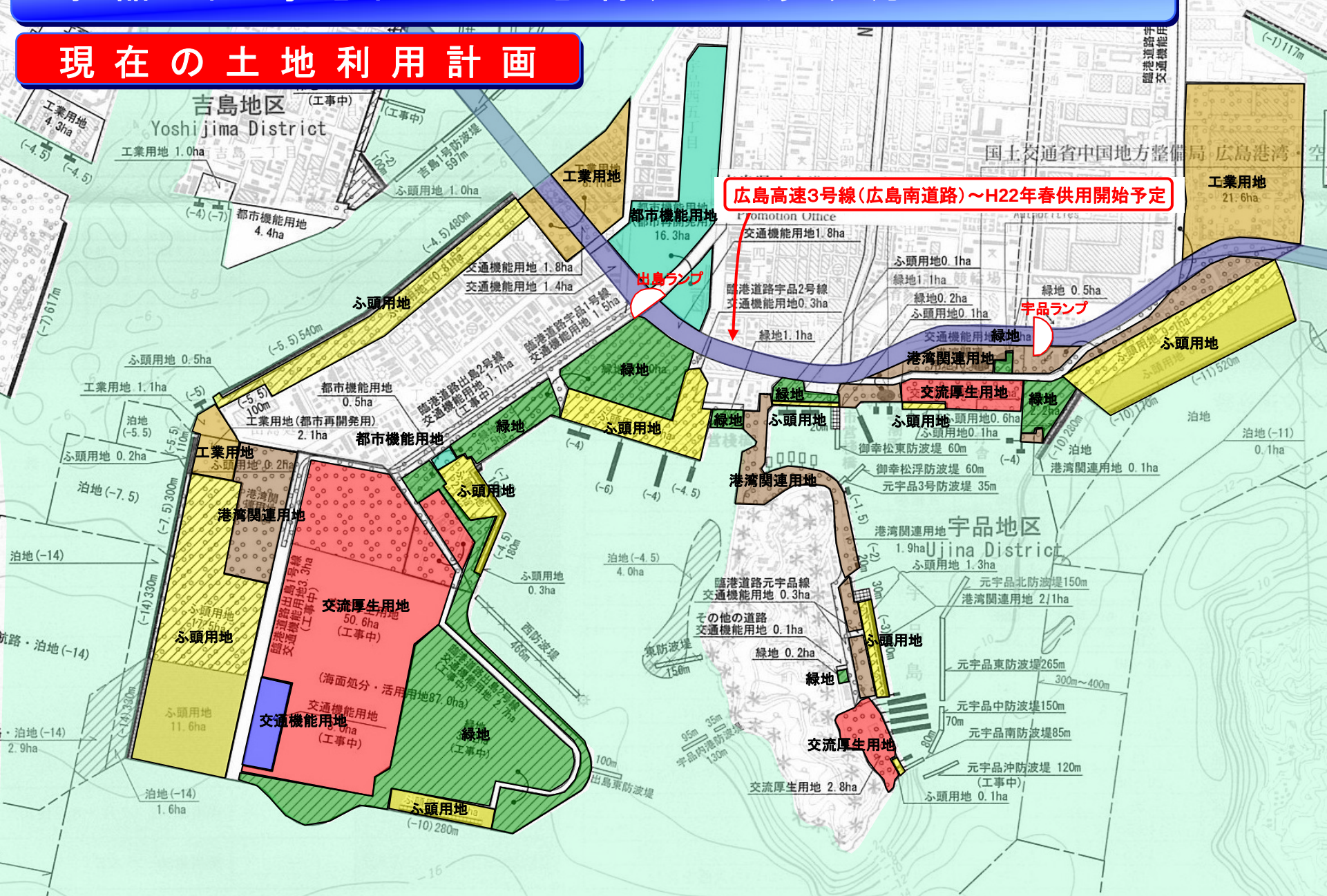
広島港宇品・出島地区土地利用あり方検討委員会委員名簿

(敬称略順不同)

区 分	氏 名	所 属	備 考
学識経験者	戸田 常一	広島大学大学院社会科学研究科教授	委員長
	寺田 英子	広島市立大学国際学部教授	
	藤原 章正	広島大学大学院国際協力研究科教授	
	山田 知子	比治山大学現代文化学部准教授	
	林 克彦	流通経済大学流通情報学部教授	
	岩本 知莎士	クロマ・コンサルタント(有)	
港湾関係者	藤井 昌平	広島商工会議所専務理事	
	仁田 一郎	広島県旅客船協会会長	
	遠藤 健嗣	広島地区港運協会会長	
	香川 源治	広島県倉庫協会会長	
国の関係行政 機関の職員	高畑 実	広島税関支署長	
	原 克彦	中国運輸局長	
	福田 功	中国地方整備局長	
関係地方公共 団体の職員	丸山 隆英	広島県土木局空港港湾部長	
	荒本 徹哉	広島市都市整備局長	

宇品・出島地区の土地利用のあり方について

現在の土地利用計画



土地利用あり方検討委員会事務局案

臨海部物流拠点の形成

・コンテナターミナルの背後に物流ターミナル用地、倉庫用地等を確保



広島特別支援学校の移転



臨海部における賑わいの創出



-14m岸壁拡張予定区域

メッセ・コンベンション計画全体の見直し

- ・基本施設の規模縮小
- ・第2展示・交流施設(多目的スタジアム)の見直し
- ・業務施設の規模縮小